

# 上物率100%を誇る敏腕肥育農家

茨城県東茨城郡茨城町 石崎牧場



石崎均氏（右）と、この春から農業大学校へ通い始めたご子息の義規氏（左）

優秀な肥育農家が多いことで知られる茨城県。その中でも群を抜く肥育成績を残しているのが、茨城町で黒毛和種去勢牛約100頭を肥育する石崎均氏（49歳）である。

石崎氏は数々の枝肉共励会で入賞を果たし、農林水産大臣賞を4回、県知事賞は県内肥育農家のなかでは最多の3度の受賞を誇る。こうした実績が評価され、平成21年3月30日には常陸牛の発展に大きく貢献したとして、県知事より特別功労賞を表彰されている。もちろん共励会だけでなく、一般出荷の内容も素晴らしい。平成21年度（平成22年3月3日まで）に出荷した全42頭の平均成績は、枝重535.9kg、ロース芯面積66.0cm<sup>2</sup>、BMSNo.9.0、5等級率は何と79%、4等級以上100%という、驚異的な成績であった。過去三年を振り返っても3等級以下は僅かに5頭という恐るべき内容である。

また、このように常に高品質な枝肉を安定的に出荷し続けているため購買者からの評価も高く、同じ格付でも市場平均よりも高値で売買されることが多いそうで、相場が伸びないなかであっても21年度は枝肉単価が2100円を大きく上回る結果となっている。

このように優れた肥育成績を残す石崎氏。その秘訣は一体どこにあるのだろうか？

（本文は 頁より）